

事務事業名	根本山自然観察センター自然環境学習事業		担当	市民生活部 環境課（根本山） 根本山自然観察センター	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	観察センター利用者数（入館者数）		人	6,104	
	団体利用数		団体	34	
	自然体験教室開催回数		回	18	
事業概要	根本山自然観察センターを中心とする約22haの区域（根本山生き物ふれあいの里）の自然環境を活用し、1年を通した自然体験教室の開催、学校等団体利用の自然ガイドの実施、自然観察センターの展示見学や野鳥クラフト等を通して、市民の自然環境学習を推進する。				
5 年度 実績・成果・課題	【実績】利用者数は、前年7,289人から1,185人減少し、6,104人であった。自然体験教室を23回実施する予定であったが、雨天中止により18回の開催となった。 気軽に自然とふれあえる自然観察路の整備により、ハイキングやウォーキングの野外散策利用が増えている。 【成果】市民が、施設の利用や自然体験教室に参加することにより、自然環境への理解を深めている。 また、自然体験教室の参加申込方法をオンライン（ロゴフォーム）で受付できるように改善したことで、オンラインからの応募が増え、参加の機会を広げることができた。 【課題】今後も、市民の多様化するニーズに応え、魅力的な自然体験教室やイベント等を計画するため、より一層、内容等の工夫、充実を図る必要がある。 自然観察路の木製階段やトンボの水辺の木道が、老朽化により、損傷しているので、対策を行う必要がある。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 - 定期的に、当日参加型の野外自然ガイドの実施を検討します。 - ボランティアガイド等を積極的に活用します。 - 施設のPRを効果的に行うとともに、利用者の多様化するニーズを把握するため、施設利用のアンケートを実施し、魅力的な自然体験教室やイベント等となるよう開催方法の見直しを検討します。 - 自然観察路の木製階段やトンボの水辺の木道については、擬木を活用し、整備を行います。				